

第38回高野山大宝蔵展

Treasures of Koyasan

高野山の名宝

平家物語の時代と高野山 会期中無休

The time of "Heike Monogatari (The Tale of the Heike)" and Koyasan

平成29年10月14日(土)～12月3日(日)

October 14th～December 3rd, 2017

平成29年度関西文化の日に協賛し、11月20日(月)を無料開館日とします。
和歌山県の「ふるさと誕生日」に賛同し、11月22日(水)を無料開館日とします。

平 清盛 奉納
血曼荼羅を
5年ぶりに公開!!

祇園精舎の
鐘の声、
諸行無常の
響きあり。
沙羅双樹の
花の色、
盛者必衰の
理をあらはす。



大塔を再建した平清盛が、お大師様(弘法大師空海上人)と出会った場面
高野大師行状図画 第十巻 成慶院

KOYASAN REIHOKAN MUSEUM

高野山霊宝館

平家物語は平安時代末頃からの平家の繁栄と滅亡を語った物語です。高野山とは無縁に思われますが、平家物語の巻10に「高野巻」があり、その中で高野山は紹介され、それ以外にも何度か高野山が物語に出てきます。今回の大宝蔵展では物語の紹介とあわせて、平清盛が頭の血を混ぜて作成したとされる、重要文化財 両界曼荼羅図（血曼荼羅）を5年ぶりに展示すると共に、平安、鎌倉時代を中心に国宝、重要文化財等を展示いたします。

また、重要文化財 不動明王三童子像（五坊寂靜院）を修理後初公開いたします。

主な出陳品

国 宝	金銀字一切経（中尊寺経）	金剛峯寺
国 宝	宝簡集「源義経書状」	金剛峯寺
重要文化財	両界曼荼羅図（血曼荼羅）	金剛峯寺
重要文化財	不動明王坐像（伽藍不動堂旧在）	金剛峯寺
重要文化財	紺紙金字一切経（荒川経）	金剛峯寺
重要文化財	弘法大師・丹生・高野明神像（問答講本尊）	金剛峯寺
国 宝 複製	宝簡集「源頼朝書状」	霊宝館
	千手観音菩薩立像（伝源義経守本尊）	金剛峯寺
	高野山壇上并寺中絵図 宝永三年本	金剛峯寺



千手観音菩薩立像（伝源義経守本尊）



重文 不動明王坐像（伽藍不動堂旧在）

なお、文化財の保存上、展示内容が変更となる場合がございますので、何卒ご了承ください。



重文 両界曼荼羅図（金剛界）



重文 両界曼荼羅図（胎藏界）



国宝 金銀字一切経（中尊寺経）

特別コーナー展示

補助事業報告

- ・平成28年度 重要文化財（美術工芸品） 絹本着色不動明王三童子像保存修理事業
- ・平成29年度 重要文化財（建造物） 上杉謙信霊屋保存修理事業

【拝観料】

一般	600円
高校生・大学生	350円（要学生証）
小学生・中学生	250円

※団体割引あり
※障害者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料です

【開館時間】※入館は30分前まで

5～10月	8:30～17:30
11～4月	8:30～17:00

【電車+バス】

南海電鉄なんば駅から極楽橋駅まで特急約1時間20分、急行約1時間40分。極楽橋からはケーブルカーで高野山へ。高野山駅より南海バス奥之院前行きにて「千手院橋」下車、徒歩10分。もしくは大門行きにて「霊宝館前」下車すぐ。

【自動車】

大阪からは約2時間。国道170、371号を經由して橋本へ。橋本から国道370、480号を經由して高野山へ。無料駐車場あり。



高野山霊宝館

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山306
TEL 0736 (56) 2029 <http://www.reihokan.or.jp/>

高野山霊宝館

次回展

冬期平常展 平成29年12月9日～平成30年4月8日（予定）